

令和7年度 学力・体力向上プラン

学校名 中央区立銀座中学校

1 課題

【4月】令和6年度学力向上プランの検証結果、学校評価の結果等によって明らかになった課題 【10月】令和7年度学習力サポートテスト、体力テストの結果等によって明らかになった課題	
児童・生徒の学力の課題	
国語	<p>【4月】 「令和6年度学習力サポートテスト」において、第3学年は「書くこと」において標準値を0.3ポイント下回っている。第2学年は全単元標準値を超えている。第1学年では「言葉の特徴や使い方に関する事項」で標準値を0.6ポイント下回っている。</p> <p>【10月】 「令和7年度学習力サポートテスト」では、「話すこと・聞くこと」において自校で設定した目標を上回ることができなかった。授業での言語活動を通して、相手や目的に応じて適切な言葉遣いや表現方法を学び、言語能力を総合的に高めていくことが課題である。</p>
数学	<p>【4月】 全学年での週末課題の取り組みや、授業で協働して問題解決ができる場面を設けたことで、令和6年度実施の学習力サポートテストにおいては、「全国平均正答率」と「目標値」を上回ることができた。数学的な思考力・判断力・表現力の向上が課題である。</p> <p>【10月】 「令和7年度学習力サポートテスト」では、「思考・判断・表現」において、自校で設定した目標を上回ることができた。一方で、「知識・技能」については設定していた目標に達しなかったため、基礎的な知識・技能の定着を目指すとともに、知識を整理、分析し、表現する指導を継続して行っていく。</p>
社会	<p>【4月】 領域別診断テストでは、都標準を上回ることができた。一方で、生徒間での定着に差が出るなどの課題がみられた。「令和6年度学習力サポートテスト」において、世界各地の人々の生活と環境が低いことが課題である。また、鎌倉時代などの単元で、定着度が低い課題がみられた。</p> <p>【10月】 「令和7年度学習力サポートテスト」において、応用問題の正答率が低いのが課題である。また、知識問題に比べて、思考問題の正答率が低く課題がみられる。知識問題では、地理的分野に比べて歴史的分野の正答率が低く、知識に偏りがみられる。</p>
理科	<p>【4月】 「令和6年度学習力サポートテスト」において植物の分類が低いことが課題である。また、どの分野において思考力が知識に比べ正答率が低い。</p> <p>【10月】 「令和7年度学習力サポートテスト」において、物質・エネルギー分野の正答率が低いのが課題である。思考力をさらに伸ばせるよう指導を継続して行っていく。</p>
英語	<p>【4月】 「令和6年度学習力サポートテスト」において、情報に基づいて書く英作文が他の分野よりも正答率が低くなっている。また、生徒たちの自分の考えを即興で表現することへの苦手意識があることが課題である。</p> <p>【10月】 「令和7年度学習力サポートテスト」の結果から、情報を読み取り英作文につなげる問題で正答率が約4割と低いことが課題である。</p>

体力向上	<p>【4月】</p> <p>「令和6年度体力テスト」において、長距離走の記録と握力の記録が低い。また、ハンドボール投げの記録が平均以下のため課題であると言える。</p> <p>【10月】</p> <p>「令和7年度体力テスト」において、1年生の結果が男女とも握力以外、全国、東京都の平均を下回っている。2、3年生においては共通して持久走の記録が全国、東京都の平均を下回っており課題と考える。</p>
------	--

2 年度末までの目標及び指標、具体的な取組

	年度末までの目標及び指標	具体的な取組
国 語	<p>【4月】</p> <p>「令和7年度実施の学習力サポートテスト」で全ての学年、全ての領域において区の平均点を上回る。</p> <p>【10月】</p> <p>領域別確認テストにおいて、全学年で標準点を上回る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習の時間を使用し、朝読書を行い継続して読解力の向上を図る。 ・授業開始の10分間は、漢字ドリルを活用し、漢字に関する知識の定着を図る。 ・振り返りシートを活用し、授業内容の確認を行う。
数 学	<p>【4月】</p> <p>令和7年度学習力サポートテストにおいて、全学年で区平均点を上回る。</p> <p>【10月】</p> <p>領域別確認テストにおいて、全学年で標準点を上回る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入時に既習事項を振り返り、前学年まででつまづきを感じている生徒の支援を行う。 ・週末課題を行い、知識・技能の習得を図るとともに、「ドリルパーク」の活用を促す。
社 会	<p>【4月】</p> <p>令和7年度学習力サポートテストにおいて、全学年で区平均点を上回る。</p> <p>【10月】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・副教材や「ミライシード」を活用し、苦手単元の学力向上を図る。 ・2・3学年では、前学年の復習を授業で行い、個の課題に応じたサポートを行う。
理 科	<p>【4月】</p> <p>令和7年度学習力サポートテストにおいて、全学年で区平均点を上回る。</p> <p>【10月】</p> <p>領域別確認テストにおいて、全学年で標準点を上回る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容と日常生活の関わりを意識させる授業を展開し、思考力向上につながる場面を設ける。 ・実験・発表の機会を増やし知識だけでなく体験して考える力を養っていく。また、学習後に復習プリントを行い繰り返し書くことで学力の定着を図る。
英 語	<p>【4月】</p> <p>既習事項を定着させ、4技能をバランス良く育成する。</p> <p>話す力・書く力を向上させる活動を計画的に実施していく。</p> <p>【10月】</p> <p>領域別確認テストで、英作文の課題で6割以上の正答率を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な学習内容の定着のため、前時の復習を授業内に行う。 ・副教材を活用し、パフォーマンステストやスペリングテストなどを学期に1～2度、定着度確認テストを毎単元終了ごとに実施する。
体力向上	<p>【4月】</p> <p>スポーツテストでハンドボール投げの記録を平均に近づける。また、長距離走の記録の向上を目指す。</p> <p>【10月】</p> <p>1年生は来年度東京都の平均に2種目は近づけるように体力強化に励む。2、3学年は3学期の授業で集中して持久力の練習に取り組み、記録の向上を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筋力トレーニングを毎回の授業の中に取り入れ、基礎体力の向上を図る。 ・冬季に長距離走を行い、持久力の向上を図る。

個別最適な学びと協働的な学びの充実	
取組	すべての生徒の可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、学習用タブレットを効果的に活用する。 全教科でグループ学習を取り入れ、協働的な学びの充実を図る。

探究的な学びの充実	
取組	観察・実験等の体験的活動の充実を通して、基礎的・基本的な知識・技能の定着と、科学的な見方・考え方を活用し論理的に探究する力を高める理数教育の充実を図り、その成果を科学コンテスト等に応募させ、生徒の学ぶ意欲を高める。

読解力の育成	
取組	朝の銀座タイムの10分間を読書時間として確保し、読解力の向上につなげる。 様々な教科の中で、図書室利用を増やし、文字に触れる機会を増やす。



3 取組結果の検証

	令和7年度の取組の成果	令和7年度の取組の課題と解決策
国語		
算数・数学		
社会		
理科		
英語		

体力向上		
------	--	--

個別最適な学びと協働的な学びの充実	
成果と課題	

探究的な学びの充実	
成果と課題	

読解力の育成	
成果と課題	